

西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

第5部

浦和区

【特性】▶浦和区は、中山道浦和宿が置かれたことを契機に急速な発展をはじめ、明治初期には県庁が設置され、埼玉県の行政の中心地としての役割を担うようになりました。市役所をはじめ県などの官公庁や文化・教育施設が数多いことから、歴史のある文教地区としてのイメージが定着しています。

都市基盤・環境

区内には、南北方向に国道17号や旧中山道、産業道路が、東西方向には国道463号や田島大牧線が伸びて、道路体系の骨格を形成しています。また、JR線の3駅（浦和駅、北浦和駅、与野駅）があり、中でも浦和駅周辺は商業・業務機能や行政機能が集積する本市の都心として、市の発展の一翼を担っています。大きくみると、JR線沿線を境に西側にはオフィス街が、東側は緑の多い住宅街が広がり、賑わいと潤いが共存するという特性を有しています。

長い歴史の中で発展してきたことから、道路などの都市基盤や公共交通機関、身近な公共施設の整備は比較的進んでおり、生活利便性の高い地区となっています。一方で、都市化による交通混雑の解消や歩行者の安全確保など道路交通環境の向上、増加する中高層住宅と近隣的生活環境との調和といった課題も生じており、その対応が必要となっています。また、市内では極めて人口密度の高い区の1つであり、高齢化も他区に先んじていることから、都市空間のゆとりの創出やバリアフリー*化など、生活環境の質的な向上にも取り組む必要があります。



開発が進む浦和駅周辺

産 業

浦和駅周辺地区には大型商業施設や金融機関などが多く集まり、大宮駅周辺地区とともに本市における商業・サービス業の中心となっています。現在、駅周辺のさらなる機能の向上に向けた浦和駅東口再開発事業、鉄道高架化事業が進められています。また、北浦和駅や与野駅周辺にも、商業や各種のサービス業が集積した賑わいのある地区が形成されています。

しかし、従来からの商店街の一部では時代の変革に伴い活気が失われているところも見られ、その活性化が望まれています。

地域資源

浦和区は古くから発展したまちで、その歴史は旧中山道周辺のまち並みや神社仏閣、史跡や天然記念物などの文化財、古くから伝わる祭りなどから読み取ることができます。また、美術館

や図書館、科学館、スポーツ施設、高等学校なども多く、教育・文化に関わる資源に恵まれていることが特徴です。

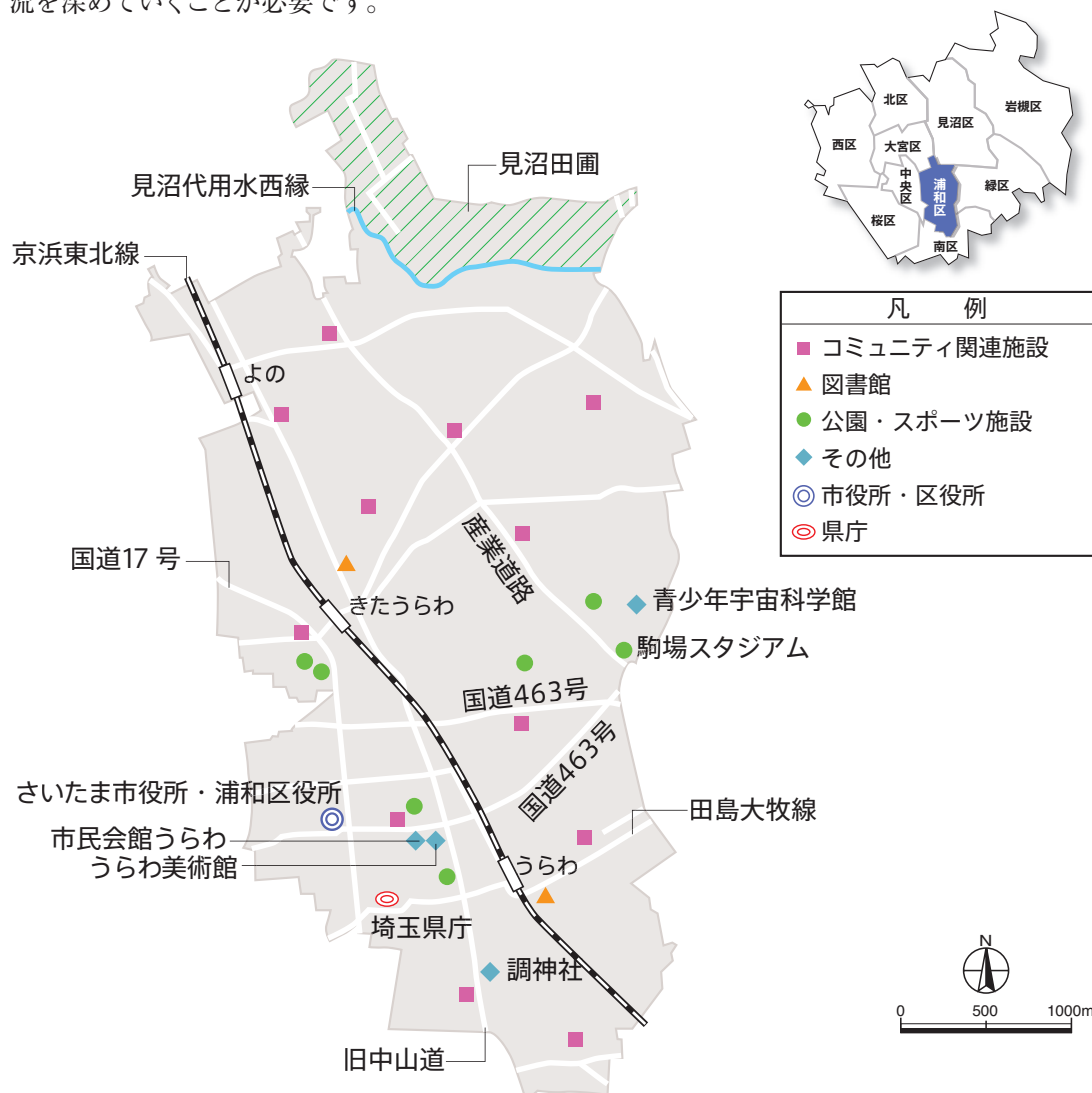
浦和区は埼玉サッカー発祥の地でもあり、駒場スタジアムはJリーグ浦和レッズのホームスタジアムとして親しまれています。また、国際交流基金「日本語国際センター」が設置されていることを活用するなど、国際交流の機会を創出していくことが期待されています。



駒場スタジアム

コミュニティ

浦和区では、自治会が中心となって地域コミュニティ活動や行事などを活発に行っており、ボランティア団体やNPO*、コミュニティ会議*などによる自発的な活動も盛んです。住民の流入が多いため、新たな住民が地域に溶け込み共に参加できるよう、区内12の公民館などの恵まれたコミュニティ関連施設を活用しながら多彩なコミュニティ活動の振興を図り、区民間の交流を深めていく必要があります。



西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

第5部

にぎわいと文教の調和する 緑豊かなまち

浦和区の将来像

— ワクワク浦和区、わたしの明日をつくるまち、
わたしが明日をつくるまち —

浦和宿に代表される歴史と文化を伝える文教都市・浦和区は、都心としてにぎわいのある地区と、緑豊かな落ち着いた住環境の地区の2つが共存しています。この特性を踏まえ、住み続けたいまち、行ってみたいと思えるまちとしての魅力を一層高めるため、地域に住む人々の参加と協働を基本に、浦和区の歴史、文化、環境の資産を生かしたまちづくりを進めます。

まちづくりのポイント

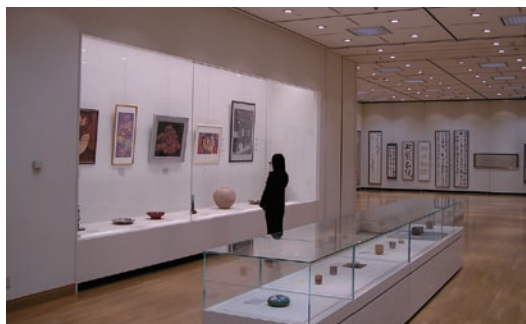
1 多様な交流のあるまちづくり

- 身近な地域での交流や地域間の特色ある交流の活発化によるコミュニティ意識の醸成
- 世代や文化など様々な差異を超えて人々がふれあい、だれもが楽しく活動し、人々の理解と共感が広がるまちづくりの推進

2 文教のまちづくり

- 子どもたちの夢と希望を育む、地域に密着した教育の推進
- 恵まれた伝統ある教育・文化・スポーツ資源を活用した、芸術・文化活動の振興
- 生涯を通じた学びの場と機会の拡充

うらわ美術館



3 にぎわいのあるまちづくり

- 駅周辺などにぎわいの拠点や商店街の持つそれぞれの魅力を再発見、活用した、だれもが訪れやすい活気のあるまちの再生と創出
- 鉄道で分断された東西が連携した一体的なまちづくり
- 旧中山道や神社仏閣が伝える歴史、サッカーのまちとしての特性などを生かした、区の魅力の向上



十二日まち



北浦和公園

4 やさしく、人間味豊かなまちづくり

- 交通事故、犯罪などの危険や騒音のない、だれもが安心して暮らせるまちづくりの推進
- 放置自転車やごみ問題などのない、安全、快適な都市空間の創出
- 中高層住宅と周辺環境とが調和した、ゆとりと潤いのある住環境の維持・創出
- 緑豊かな美しいまち並みづくりなど、地域の環境向上に向けた住民参加による取り組みの推進
- 高齢者や障がい者の自立と支援、子育てなどを互いに助け合い、だれもが元気に活動できる地域づくり



玉蔵院のしだれ桜

5 参加と協働によるまちづくり

- 住民が地域をより深く知り、考えるような場や交流機会の積極的な創出
- 地域住民と行政の協働を実現するための環境の整備
- 新しい情報技術の活用などによる、さらに広い市民の参画機会を増やす仕組みの創設

■ 人口の見通し

項 目	面積 (a) (km ²)	人 口 (b)		人口密度 (b/a)	
		平成 17 年 (人)	平成 25 年見通し (人)	平成 17 年 (人／km ²)	平成 25 年見通し (人／km ²)
浦和区 (A)	11.51	142,012	146,000	12,338	12,700
さいたま市 (B)	217.49	1,185,777	1,268,000	5,452	5,800
市全体に占める割合 (A/B)	5.3%	12.0%	11.5%	—	—

注1：面積は、国土地理院「平成16年 全国都道府県市区町村別面積調」による。

注2：平成17年の人口は、住民基本台帳及び外国人登録による10月1日現在の人口。平成25年見通しは概数。

注3：端数処理の関係上、区ごとの「市全体に占める割合」を合計すると100にならないことがあります。

西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区